



# 優秀賞 (居室部門)

タイトル 馴染んだ家の温もりを残しながら快適な住空間に

タイプ 持家一戸建

講評

築70年の古民家を現代の生活に合わせるためにリフォーム。太い構造梁を、新たに設けたトップライトのもとで見せる方法の他、大谷石や古い建具の利用がこの家の風格を引き立て、新しい美しさを生み出している。

リフォーム前後の写真



リフォーム前



リフォーム前

リフォーム後



リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など	
<p>《リフォームの動機》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化して使い勝手の悪い家を現代風でモダンな家にした。</li> <li>・ 新築か?リフォームか?...家、家族の歴史のある住み慣れた家の温もりを残した家にリフォームしたい。</li> </ul>	<p>《設計・施工の工夫点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 典型的な農家づくりである「田の字型」の間取りで、暗くなりがちな北側を天窓をつけることにより、明るくダイナミックな開放感のある空間にした。</li> <li>・ 天井に隠れていた構造梁を現し、リビングのシンボルにした。</li> <li>・ 10部屋全ての敷居や廊下の段差をなくしてバリアフリーに。</li> </ul>
<p>特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他（ ）</p>	
<p>データ</p>	
所在地	栃木県栃木市
構造 / 築後年数	在来木 造 / 70 年
該当工事面積	40.57 m <sup>2</sup> 該当部分工事費 420 万円
居住者構成	6 人 (大人 15歳以上 6 人 子供 人) ペット
設計者	(株)Dr.リフォーム・サンセイ インテリアデザイン一級建築士事務所 担当者 佐藤 弘人
施工者	同上 担当者